

企業とクリエイターの交差点 〈クロス〉

Vol. 6

CROSS

CROSSはデザインを活用したモノやコトを生み出す企業が増えることを目指して企業とクリエイターがつながるきっかけづくりを進める場です。
ゲストトークのあとは、ゲストを囲んでのトークタイムをお楽しみください。
デザイン都市・神戸に、もっともっとすぐれたデザインがあふれますように。

2017年

10月13日(金) 19:00～21:00

場 所：デザイン・クリエイティブセンター神戸 KIITOカフェ

対 象：企業、クリエイター、その他デザインに関心がある方

定 員：50名(先着順)

参加費：1,000円(1ドリンク・スナック付)

TALK

マッチのルーツを語り継ぐお香ブランド「hibi」

「地場産業とクリエイターでつくりあげるブランド戦略」

ゲスト **嵯峨山 真史 氏** 神戸マッチ株式会社 代表取締役

堀内 康広 氏 TRUNK DESIGN クリエイティブディレクター/デザイナー

申込方法：E-mailで①氏名、②フリガナ、③会社名等所属、④業種などをご記入のうえ、件名を「CROSS6」として下記へご送付ください。

kogyoka@office.city.kobe.lg.jp

申込期限：2017年10月6日(金) ※応募多数でご参加いただけない場合はご連絡差し上げます。

問い合わせ：

神戸市経済観光局工業課デザイン担当 電話：078-322-5333

<https://design.city.kobe.lg.jp/project/cross/>

マッチのルーツを語り継ぐお香ブランド「hibi」

「地場産業とクリエイターでつくりあげるブランド戦略」

TALK



明治の初めにマッチ製造の技術が日本にもたらされて以来の歴史をもつ、兵庫県の地場産業であるマッチ製造。しかし、近年、機械的な着火具の普及により、マッチで火をつける行為は日常生活から失われつつあります。マッチという道具は消えてしまったとしても「摺って火をつける」というマッチのルーツを語り継いでいきたい。そんな想いから生まれた、摺って使うお香「hibi」。今回のCROSSでは「マッチ」と「お香」という地場産業がつながった商品開発の取り組み、開発者の想い、そして作ってからこそが大事という「hibi」のブランド戦略についてお話を伺います。

GUEST



神戸マッチ株式会社 代表取締役

嵯峨山 真史 氏

- 1991年3月 関西学院大学 法学部法律学科卒
- 1991年4月 日本コダック株式会社 入社
印刷業界向けフィルム・機器営業を経験。
- 1999年9月 神戸マッチ株式会社 入社
- 2007年8月 マッチ雑貨ブランド「マッチデザインファクトリー」をデザイナー堀内康広氏と立ち上げ、マッチ市場復活に向けた活動を開始。
- 2010年10月 神戸マッチ株式会社 代表取締役に就任
- 2015年4月 (株)大発と3年半の研究開発期間をかけ、「着火具不要のお香 hibi 10MINUTES AROMA」をリリース。

<http://hibi-jp.com/>

TRUNK DESIGN 代表

クリエイティブディレクター/デザイナー

堀内 康広 氏

1981年兵庫県生まれ。2009年に「トランクデザイン」を、神戸垂水・商大筋にオフィス&ショップをオープン。地場産業のプロデュースやブランディング、百貨店広告などのディレクションやデザインを幅広く手がけ、2012年には兵庫県のモノづくりを紹介する「Hyogo craft」を立ち上げ、兵庫県の間伐材を使用したオリジナルプロダクト「森の器」、播州織の職人とつくるアパレルブランド「IRODORI」・「megulu」も手掛ける。平成27年度経済産業省「JAPANブランドプロデュース支援事業MORE THAN PROJECT」採択事業「播州そろばんプロジェクト」にてプロジェクトマネージャーを務める。

<http://trunkdesign-web.com/>

